



# 教頭会報

第101号

発行 平成20年10月15日  
編集兼発行人 米満 裕  
発行所 全国公立学校教頭会  
東京都港区愛宕1-6-7  
電話 03-3436-4868~9  
http://www.kyotokai.jp

## 特集

### 第50回全国公立学校教頭会研究大会 第26回四国地区小中学校教頭会研究大会 第47回愛媛県小中学校教頭会研究大会

大会主題：「生きる力をはぐくむ豊かな学校をめざして」  
～ 命かがやかせ 夢ひらく たくましい子どもの育成 ～

節目となる第50回全国公立学校教頭会研究大会が、愛媛県松山市で開催された。

今回は、7月31日（木）と8月1日（金）の2日間開催となったが、クールビズと節約型の大会運営に努め、全国から2700名余の会員とPTAや地元教職員の参加を集め、これまでの3日開催にひけを取らない熱気溢れる充実した研究大会となった。

初日は、午前中から研究基調提案に続いて分科会、午後分科会と充実した一日となった。初日から分科会の異例の日程でも、全国から参加した会員による熱気溢れる参加型分科会のグループ討議の輪が各分科会会場で見られた。

翌日は愛媛県民文化会館を会場にして開会行事などが行われた。米満会長の挨拶に続き、文部科学大臣（代読 初等中等教育局視学官・日置光久様）、愛媛県知事・加戸守行様他多くの関係者の方々からご祝辞をいただいた。

記念講演では、漫画家の松本零士氏が「子どもたちの夢が未来をつくる」の演題で、大洲で幼少期を過ごした原体験を中心に時間の経つのを忘れるほど熱く語ってくださった。私たち世代に、夢とロマンを投げかけた熱弁であった。

昼食時には、松山市立高浜小学校水軍太鼓部の児童たちが、勇壮果敢な演技で郷土文化を紹介してくれた。午後の全体シンポジウムでは、

- ①命かがやかせるたくましい子どもの育成
- ②夢ひらくたくましい子どもの育成
- ③豊かな学校にするために教頭に求められるものの3つの視点から、3人のシンポジストの皆様の論議が展開された。

いで湯と文化の城下町・松山、そして俳句都市松山での2日間は、おもてなしの心配りが随所に溢れており、心温まる大会であった。



<分科会会場> 松山市内5施設9分科会場  
愛媛県民文化会館 松山市総合コミュニティセンター 松山全日空ホテル 国際ホテル松山 エスポワール愛媛文教会館

<全体会会場> 愛媛県民文化会館

<記念講演>

演題 『子どもたちの夢が未来をつくる』

講師 松本 零士氏（漫画家）

<郷土文化の紹介>

松山市立高浜小学校 水軍太鼓部

<全体シンポジウム>

『命かがやかせ 夢ひらく たくましい子どもの育成』

コーディネーター 平松 義樹氏（愛媛大学教育学部教育実践総合センター教授）

シンポジスト 日置 光久氏（文部科学省初等中等教育局視学官）金本 房夫氏（松山市中島総合文化センター所長、中島公民館長）戒田 節子氏（南海放送アウンサー、「みかん一座」座長）



# 分科会

## 第1 A分科会 - 教育課程に関する課題

特色ある学校づくりを進めるための教育課程の改善に教頭としてどうかかわればよいか  
～自己評価や外部アンケート等の学校評価を生かして～

岩手県陸前高田市立小友中学校 小山孝治

特色ある活動を通して、豊かな人間性を育てる取組  
～教頭として、どのように「羽中魂」を守り、育てていくか～

徳島県阿南市立阿南第一中学校 山西 典

特色ある学校づくりを推進する教育活動の工夫・改善  
～中学校区(ブロック)の特色を生かした取り組みにおける教頭のかかわりについて～

愛媛県八幡浜市立真穴小学校 菊池 正

## 第1 B分科会 - 教育課程に関する課題

教育課程の改善に生かす授業評価と教頭のかかわり方  
～管理職による授業参観と学校評価に視点をあてて～

群馬県南牧村立南牧中学校 斉藤 敦

特色ある学校づくりのためのPDCA  
～学校評価の実践を生かして～

香川県坂出市立瀬居小学校 三谷恵子

特色ある学校づくりの充実を図るための教頭のかかわり方  
～ニュードリームプラン(特色ある学校づくり事業)を通して～

愛媛県松山市立垣生中学校 松本一孝

## 第2 分科会 - 子どもの発達に関する課題

知・徳・体の12年間の発達を見据えた教育に向けて  
～教頭の協働性、関与性を重視した「宇多津教育マスタープラン」の構築～

香川県宇多津町立宇多津中学校 倉沢 均  
地域ぐるみの食育の推進と基本的生活習慣の確立をめざして

～教頭として学校・家庭・地域連携強化の視点から～



校内の特別支援教育体制作りと教頭のかかわり

富山県入善町立桃季小学校 高澤 優

愛媛県西予市立皆田小学校 兵頭茂博

## 第3 分科会 - 教育環境整備に関する課題

安心・安全な環境づくりと教頭のかかわり  
～PTA・関係団体との連携を通して～

愛媛県伊予市立中山中学校 藤井修二

開かれた学校づくりをにおける教頭のかかわり  
～学校行事における保護者や地域とのつながりを通して～

徳島県美波町立由岐小学校 下八正美

地域等の人材を活用した特色ある学校づくりと教頭としての役割  
～地域・関係団体との連携をキーワードとして～

奈良県田原本町立北中学校 増田辰夫

#### 第4分科会 - 組織・運営に関する課題

組織・運営の充実と活性化を図るための教頭としての在り方

～「つなぎ、つながる」小中連携を通して～

愛媛県松山市立椿小学校 廣藤まゆみ

学校運営組織・校務分掌の合理化・効率化への教頭のかかわり方

～調和のとれた校務分掌の仕組みを求めて～

徳島県つるぎ町立半田中学校 西原芳人

学校運営改善に生かす学校組織マネジメント

～PDCAサイクルや組織マネジメントの手法を生かして～

山口県周防大島町立和田小学校 久保田尚

#### 第5分科会 - 教職員の専門性に関する課題

教職員の資質の向上のために教頭としてどう取り組むか

～教頭会や各学校における研修を効果的なものにするために～

愛媛県大洲市立正山小学校 水谷周二

教職員の指導に関する研究

～授業力の向上を目指した教頭のかかわり～

高知県高知市立西部中学校 武田敏宏・上村国之

教職員の資質の向上への教頭のかかわりについて

～教職員の授業力の向上をめざして～

宮城県高千穂町立田原中学校 小田 雄二

#### 第6分科会 - 副校長・教頭の服務に関する課題

子どもの発達を見すえた学校間連携の在り方

～連携の条件整備にかかわる教頭の役割について～

北海道富良野市立樹海中学校 鈴木信人

樹海小学校 田村啓一

人事評価制度を通しての学校組織づくりにおける教頭の役割

～教職員の意欲化・学校の活性化を図るために～

高知県南国市立十市小学校 南部 務・川端 章祐

健全育成を中心とした学校づくりと教頭の在り方

～学校の生徒指導力を高めるために～

愛媛県西条市立東予東中学校 岡田 光



#### 特別分科会Ⅰ - ワークショップ

テーマ「ワークショップ型研修を学ぶ」

～一人一人を生かして深める～

講師 関田一彦（創価大学教育学部教授）

#### 特別分科会Ⅱ - シンポジウム

テーマ「ことばの力をはぐくむ」

～命のかがやきを大切に～

コーディネーター 堀田 優子氏（愛媛県砥部町立広田小学校長）

シンポジスト 夏井いつき氏（俳人）

仲野 猛氏（元野村学園長）

三浦 和尚氏（愛媛大学教育学部教授）



# 全体シンポジウム

## テーマ「命かがやかせ 夢ひらく たくましい子どもの育成」

シンポジウムでは、愛媛大学の平松義樹教授をコーディネーターに、3人のシンポジストの方より、『命をはぐくみ、未来に向かって生き抜いていける力を育てるには何が必要か』『夢や希望を追い求め、自分の人生に向き合える子どもを育てるためには、私たちに何が求められているのか』など、『今日的な課題』について、示唆に富むお言葉をいただくことができました。



### シンポジスト 日置光久氏

(文部科学省初等中等局視学官)

- ・教育基本法に「生命を尊び、自然を大切にし・・・」とあるとおり、子どもたちに命の尊さを考えさせることが大切である。人の命、生き物の命を通して、自分の命を考えさせたい。それは各教科にまたがっている。今の学習や活動をしっかり取り組む中で命をかがやかせていける。
- ・文科省やPTAが、「早ね、早起き、朝ごはん」運動を行っているが、学力は、学校だけでは培われない。家庭の協力が大切である。

### シンポジスト 金本房夫氏

(松山市中島総合文化センター所長兼中島公民館長)

- ・一人で生きる命も大切だが、つながりの中で生き、生かされている命を学ばせないとたくましい子どもにはならない。
- ・夢がなければ努力もない。夢をひらくには努力がいる。努力しなければ夢も生まれない。まずは、我々教師が子どもたちに伝えたい夢や思いをどれだけ持っているかである。



### シンポジスト 戒田節子

(南海放送アナウンサー、みかん一座の座長)

- ・「みかん一座」をラジオで呼びかけたら50人が集まってきた。一人ひとりが一生懸命がんばっている。子どもたちのかがやく瞳を感じる。生きる力は、大きな声を出すこと。そして、体を動かすこと。それが、体の中から生きる力を引き出すことになる。



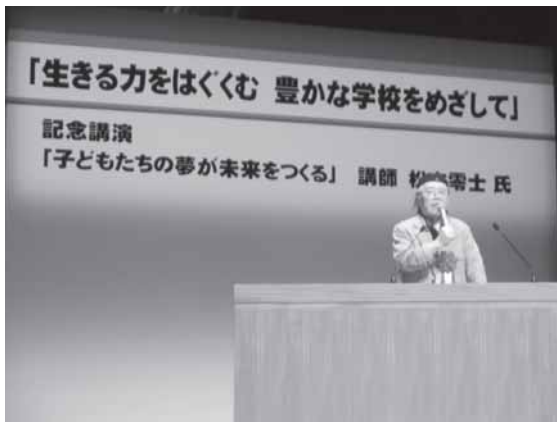
- ・「豊かな学校にするために、私たち教頭に求められること」について、3人のシンポジストの方からお言葉をいただきました。
- ・仕事は段取りよく仕上げていく。
- ・校長・教員・子ども・保護者・地域の方・・・いろいろな意味で人間関係力をつけていくことが大切になる。
- ・授業をどんどん見せていく。
- ・人間も考え行動しなければ、動物にも劣る。真剣にやっていけば知恵も出る。いい加減な取り組みでは愚痴が出る。先生方に語れるものを持っていないといけない。
- ・先生方を指導しながら、やる気・元気・活気のある学校をプロデュースすることが大切。
- ・教頭から元気な声で、しっかりあいさつしていくことが大切。

## 記念講演

### 「子どもたちの夢が未来をつくる」

松本 零士氏（漫画家）

氏は昭和13年、福岡県久留米市生まれ、昭和28年「蜜蜂の冒険」で漫画界デビュー、同作品で「漫画少年」第1回新人賞受賞。昭和47年「男おいどん」で講談社出版文化賞漫画部門賞を受賞。「宇宙戦艦ヤマト」「銀河鉄道999」はアニメ化され大ヒット！！昭和53年「銀河鉄道999」で小学館、日本漫画協会の賞を受賞。昭和54年第24回映画の日特別功労賞を受賞。近年では、フランスのロックバンド、ダフトパンクのプロモーションビデオ製作が話題を呼んだ。他に「諸外国との映画、アニメ制作のプロジェクト」等の作業が始動しつつある。



氏は講演の中で、愛媛県大洲で幼少期を過ごした原体験を中心に子どもの夢を大事にしないと、予定の時間を超えて私たちに熱く語りかけた。

大洲で過ごした終戦前後の頃の自然との存分な触れ合いや体験が、今の自分の源になっている。初期に描いた「昆虫国漂流記」などは、まさにこの辺りでの少年期の原体験のままに描いたものである。夕焼け空で目に焼き付いた編隊飛行や銀河の星空や自然体験など、子どもの頃の自分が見た数々の夢が大人になってプラスになっており、自分の作品となった。少年期の記憶は、すごいものがある。私の場合は、少年の時の夢が、自分の未来をつくったと言える。先生方も過敏な少年期の夢を大切に教育をして欲しい。現に、子どもの夢や子どもの考えたことが数年後には実現している。

子どもの夢を侮ってはいけない。子どものプライドも傷つけてはならない。子どもの夢を嘲笑ったり削ぐような言動は、必ず仕返しがあると、思っている。子どもの夢をとことん大事にして、投資を惜しんではならない。

更に、夢は志である。志を認め励ます教師でありたい。私は未来を想像していると夢が湧くが、未来というのは、子どもの心の中に既に実在しているものである。「未来は子ども心の心の中にある」ことを大事にして欲しい。

## 全国公立学校教頭会研究大会 愛媛大会を終えて

愛媛大会実行委員長  
芝田 眞次

7月31日・8月1日、いで湯と俳句の街、愛媛県松山市において、第50回愛媛大会を開催いたしました。1日目は「代表参加制」による会員約2500名、2日目は「開かれた教頭会」として地元PTA、教職員約200名を含む計約2700名の参加による大会となりました。

本大会では第八期のスタートに当たり、継続研究主題「生きる力をはぐくむ 豊かな学校をめざして」のもと、サブテーマ「命ががやかせ 夢ひらくたくましい子どもの育成」を掲げ、子どもたちの自立を願い、命と夢のかがやく子どもを育てる視点からメインテーマへのアプローチを愛媛から発信しました。

1日目は市内9分科会場にて「参加型の分科会」による8人の小グループで「継続性・協働性・関与性」に視点を当てた熱い協議を終日行いました。特色ある内容として特別分科会Ⅰでは、全公教担当の「ワークショップ型研修」で「ワールドカフェ方式」による校内研修のあり方の研究、特別分科会Ⅱでは愛媛担当のテーマ「ことばの力をはぐくむ～命のかがやきを大切に～」のシンポジウムで、新学習指導要領でも重視される言語に焦点当て、テーマに迫る研究を行いました。2日目は県民文化会館で、午前に開会行事と漫画家の松本零士氏の夢と感動の記念講演、午後に、テーマに迫り本大会を締めくくる全体シンポジウムを行いました。

2日間開催の大会で、ご負担、ご迷惑をおかけしました。節約と研究の質向上に努め、愛媛の教頭484名が精一杯運営しましたが、至らない点もあったことと存じます。参加の先生、温かいご支援をいただいた全公教、四国ブロック、関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

現在、大会を総括し、集録等で報告できるよう準備を進めています。愛媛大会でスタートした第八期の研究が、今後全国での実践に広がり、次年度の千葉大会へつながらざることを願いたします。

平成20年度

## 第1回 研究部長会

7月10日(木)11日(金)  
虎ノ門パストラル

全国から各単位教頭会の研究部長と本部役員等を合わせて77名の出席のもとに開催された。間近に迫った愛媛大会を前に、全公教研究推進の基本的な考え方の共通理解と協議が行われた。

今年度から全国統一研究主題第八期となるが、研究主題の継続や課題等の確認をした。また、愛媛大会特別分科会で取り上げるワークショップ形式の研修を学ぶ講演・演習を取り入れた。ブロック別懇談会では、単位教頭会や研究部長が抱えている課題及び解決策について協議し、大変に濃密な内容の研究部長研修会であった。

<第1日目> 14:00~

第八期「全国統一研究主題」及び「全国共通研究課題」について(宇賀神研究部長)講演・演習

ワークショップ形式の「校内研修をどう進めるか」(創価大学教育学部 関田一彦教授)

全国研究大会愛媛大会において、全公教が担当する教員研修についての手法を実際に体験しながら、参加者の抱える課題を整理した。

<6人グループとなり関田教授がファシリテーターとなり、ワールドカフェ方式の討議を行った。活発な話し合いにより、新しい出会いや学びがあったと参加者に好評であった。ワークショップやワールドカフェ方式が校内研修の一つの手法として有効であることが理解できた>

<第2日目> 9:00~

ブロック別懇談会 ブロック別懇談会での内容報告 全国大会について(愛媛、千葉)

## 顧問会代表者会議

8月2日(土)高知市城西館

- 1 会長挨拶 2 平成19年度活動報告、
- 3 顧問会規約改正について
- 4 平成20年度役員体制  
会長 和田 豊 会長代理 中嶋 直充  
幹事長 奥田 誠  
幹事 今村 文彦、杉淵 光芳、浅野 正邦、澤田 哲夫、大嶋 和明、
- 5 平成20年度顧問会活動計画について
- 6 平成20年度愛媛大会助言者団の充実  
愛媛大会助言者(7名):水上哲彦(山口県)、土江 幸(島根県)、上原次代(沖縄県)、川口眞弘(宮崎県)、岡村 修(高知県)、門脇礼一(香川県)、梶野雅義(香川県)
- 7 その他

平成20年度

## 全国要請推進部長会

7月24日(木)25日(金)  
都市センターホテル

全国から各単位教頭会の要請部長、会長および総務部員等の参加のもと、全国要請推進部長会議が開催された。

<第1日目> 13:30~

文教施策及び予算措置・文教関係立法等の要請文の解説と現在の課題等について  
余郷総務部長

### 全公教要請文の要請内容の骨子

- 1 義務教育費国庫負担制度の全額国庫負担化及び人材確保法の精神を堅持する施策を講じられたい。
- 2 「学校力」の向上を図るため、学校に真に必要なとされる人材の配置と物的措置について見当・拡充を図られたい。
- 3 学校の組織的運営を支援する施策を講じられたい。
- 4 優れた資質能力を有する教員養成・免許制度及び教員の職務能力の向上に資する施策を講じられたい。
- 5 学校の裁量権の拡大を図るための施策を講じられたい。
- 6 家庭の教育力向上を図るとともに、地域の教育力を学校に取り込み、学校と家庭や地域と連携を図るための方策を講じられたい。

各県の現状についてグループ別討議  
講演会

「総合的な学習の時間を生かす学校カリキュラム」  
講師; 伏木久始先生(信州大学教育学部臨床教育推進室長)

<第2日目> 9:00~

グループ別討議報告及び意見交換  
要請活動

文部科学省からの説明及び質疑  
「教職調整額」に係る検討経緯等について  
講演: 文部科学省初中局財務課室長補佐

藤岡 謙一 氏



## 第1回 理事会開催される (平成20年9月5日)

9月5日(金) 虎ノ門パストラルにおいて全国単位教頭会の理事、役員、専門部員の参加のもと、今年度第1回理事会が行われた。今回の理事会の中心課題は、懸案になっている財政対策問題である。

### 【第1回理事会 次第】

- 1 会長挨拶
- 2 報告事項(6/9~9/7)
  - (1) 本部活動経過報告 吳宮副会長
  - (2) ブロック・専門部の活動報告 各ブロック長、各専門部長
  - (3) IT委員会、学校運営誌委員会 石井副会長、五百川編集委員長
  - (4) 顧問会代表者会 米満会長
  - (5) その他
    - ① 教職調整額の見直し等に関する検討会議の意見発表等(文科省) 米満会長
    - ② 平成20年度「Q&A学校管理・運営の法律実務」の追録発行について 米満会長
- 3 報告・協議事項
  - (1) 第1回全国研究部長会、研究活動について 宇賀神研究部長
  - (2) 全国要請部長会、要請活動について 余郷総務部長
  - (3) 全国研究大会
    - ① 第50回全国研究大会愛媛大会について 芝田実行委員長
    - ② 第51回全国研究大会千葉大会について 渡邊実行委員長
  - (4) 平成21年度の会場確保と日程について 峯岸副会長
- 4 協議事項
  - (1) 「財政対策(問題)」について(2) 米満会長
  - (2) 結成50周年記念事業について 峯岸副会長



(写真は、理事会の様子)

今日は削減額の数値を示せないが、12月の理事会では削減の努力状況と来年度の予算について数値として示そうと思っておりますので、各方面での努力をよろしくお願いいたします。

この会長の努力決意表明に対し、会場の各理事からは多数の支持をいただいた。

また、各理事からは全国研究大会やブロック長会・IT委員会や旅費等のあり方についての建設的な意見をいただいた。中には、例え1円でも1万円でも削減する危機感を持って運営に当たるようにと厳しい意見もあった。さらに17年度の財政再建答申が出されて以降、会員全員に財政危機の問題が浸透していなかった点や総会などでこれまで明確な解決策が提案されなかったことを残念がる理事もいた。

12月の第2回理事会では、削減を数値として示して次年度の総会に臨むことになる。

### 第3・4回役員会

8月22日(金)23日(土)

#### 活動経過報告

事務局、各ブロック長、各部長、各委員長報告・協議事項

- (1) 第1回全国研究部長会
- (2) 全国要請推進部長会、要請活動
- (3) 全国研究大会、ブロック研究大会  
第50回全国研究大会愛媛大会  
第51回全国研究大会千葉大会  
平成21年度中国ブロック研究大会
- (4) 「教職調整額の見直し等に関する検討会議の意見発表」(6/28文科省)  
「文教予算に関する要望書対策会議」(7/14日本教育会)
- (5) 平成21年度の会場確保と日程

#### 協議事項

- (1) 「旅費支給規程」の全面改正について
- (2) 「財政対策(問題)」について
- (3) 結成50周年記念事業について
- (4) 「副校長・教頭の基本調査」の検討について(基本調査検討委員会)
- (5) 「第九期の研究活動」について(研究活動検討委員会)

その他 会議準備について

### 主な協議事項の中から

財政対策問題について(米満会長より)

総会で宿題となっていました「財政対策(問題)」について、時間を取って役員会で議論を重ねました。財政問題に対する対応を、理事の皆さんに本日提言しますのでよろしくお願いいたします。

財政再建対策については現在、各委員会・部会等で予算削減の努力をしているところです。具体的には、例えば会報や大会要項等の発送費を削減するために、業者を使わずに自分たちで作業をする。会議の運営を工夫することによって会議費の2~3割削減を目指す努力をする。ブロック長会や役員引き継ぎ会等で旅費の削減の努力をする等、様々な委員会や部会で経費削減を課すようにしております。

この努力によって、負担金等の値上げをせざるに乗り切れそうな見通しがつきました。

シリーズ

# 北から南へ、わがブロック教頭会

## 東北ブロック & 近畿ブロック

### 東北ブロックの活動

東北ブロック長 三浦 雄一

東北ブロックは、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県の6県で構成されている。会員数は3,385名であるが、近年の児童生徒数の減少による学校の統廃合にともない会員数の減少が顕著である。

今年度は6月4、5日に秋田市で行われた第1回東北理事会において、主な事業計画、方針、予算等を審議決定するとともに、各県の抱える課題等についても情報交換し、東北ブロックとしてのこれまでの成果と課題の共有化を図ってきている。本年度は2回の理事会（研修会も兼ねる）と1回の研究部長会（前年度までは要請部長会も同時開催であったが研究部長会のみとした。）をいずれもブロック代表県である秋田で開催し活動の集約をすすめる。

#### 【本年度研究大会について】

基本的に各県の輪番制で開催している東北ブロックの研究大会（10月30日・31日開催の秋田大会）が間近となってきた。昨年度から県教頭会に準備委員会を立ち上げ、今年度は秋田市小・中学校教頭会を主管に大会実行委員会を組織した。総務部、研究部、運営部、編集部の4部を作り、各部長を含めた常任委員会で進捗状況を確認し準備を進めている。

本大会の日程の特徴としては、メインである分科会協議の時間に余裕を持たせたいという思いから従来の1日目全体会・講演会、2日目分科会という日程ではなく、1日目に全体会・分科会、2日目に講演会という形にしている。講演会講師には秋田県潟上市出身の水中写真家中村征夫氏をお迎えし「海の力・自然の力・人間の力」と題し、記念講演が行われる。「開かれた教頭会」という事で秋田市内の各小・中学校PTAすべてにご案内をさし上げた。

第八期全国統一主題1年次にふさわしい活発な討議と東北地域としての一体感のある運営で参加者に実りある大会となるよう、努力したい。

### 近畿ブロックの活動

近畿ブロック長 角谷 義彦

滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、奈良の2府4県で構成され、会員数は4,351名である。

#### 1 活動の基本方針

- (1) 教頭の使命に徹し、学校教育の役割と今日的課題に正対し、常に研鑽を積み識見を高め、視野を広め、資質の向上に努める。
- (2) 会員相互の信頼と連携の絆を深め、本会の組織・機能を充実させ、活性化を図る。
- (3) 教育諸機関・教育関係団体との連携を図り、教育課題の解決に向けて鋭意努める。

#### 2 基本目標

「生きる力をはぐくむ  
豊かな学校をめざして」

#### 3 活動計画

- (1) 全国共通研究課題の解明に向け、組織的・継続的に取り組む。
- (2) 当面する教育課題に積極的に取り組む。
- (3) 教頭会の組織を充実し、活動の活性化を図る。
- (4) これからの時代に対応する教育条件の改善を図る。
- (5) 職責に見合う処遇改善の実現に努める。

#### 4 事業計画

- 7月4日近畿公立学校教頭会第1回理事会  
(奈良市)
- 10月17日近畿公立学校教頭会第2回理事会  
(奈良市)
- 11月28日近畿公立学校教頭会研修大会  
奈良大会(奈良市)
- 1月30日近畿公立学校教頭会第3回理事会  
(奈良市)

#### 5 その他

今年度の近畿公立学校教頭会研修大会は、11月28日、奈良市の「なら100年会館」及び「ホテル日航奈良」を会場に開催予定である。滋賀大会の成果と課題を踏まえて、各府県の教育実践を交流し、研修を深め合い、学校教育の一層の充実・発展を期す大会としたい。